



# 高尾の緑

Vol.116

学校法人トヨタ東京整備学園  
専門学校

**トヨタ東京自動車大学校**  
Toyota Technical College Tokyo

国土交通大臣指定・文部科学大臣認定  
〒193-0944  
東京都八王子市館町 2193 番地  
TEL 042-663-3211 編集責任者 黒沢 茂

## 祝入学おめでとう・創立60周年



トヨタ東京自動車大学校創立60周年の節目の年に入学された新入生の皆さん、および上級学科へ進学された皆さん、おめでとうございます。新入生の皆さんは、新たな学校生活への期待や不安でいっぱいだと思います。早く新しい環境に慣れるようにして下さい。

我々「トヨタ東京自動車大学校は自動車技術教育の先進校として人材育成活動を通じて社会に貢献すること」を基本理念とし、教育スローガンは「技術を磨き、そして人間性もとしています。これは「技術や知識を学ぶ」だけではなく、社会人として「挨拶、身だしなみ、コミュニケーション能力」といった「豊かな人間性も身につけて行こう」というものなのです。

さて、皆さんは今後、どのような活躍をしたいと考えているでしょうか？「プロのサービスエンジニアとして活躍したい」、「車の開発に携わってみたい」、「レースメカニックになりたい」、「発展するスマートモビリティ分野で学士として活躍したい」、「海外での仕事に就きたい」など、「夢や希望」があると思います。これらの実現に向けて新入生の皆さんにアドバイスをさせて貰います。



### 松浪 良樹 新校長 就任

一つめは「遅刻や欠席をしない」ことです。社会では、遅刻しないのは当たり前で常に時間に余裕を持って業務に臨むことが求められます。二つめは「学校行事や当校のモータースポーツイベントに積極的に参加すること」です。年間を通じて参加機会を数多く設けています。自ら考えて行動出来る社会人になるために、参加を期待します。

次に上級学科進学の諸君は「当校の誇る上級生」です。技術面と人間性では大きく成長していると思えます。今後は次のことを実行して下さい。

一つめは「目標をより高く設定し、チャレンジする」ということです。勉強内容は格段にレベルが上がります。勉強の仕方も変わるので、自ら考えて行動する必要があります。二つめは「学生の模範となる」ことです。在校生は約100名ですが、様々な面において積極的に模範となして下さい。

我々「トヨタ東京自動車大学校は『夢や希望』を叶えようと努力する皆さんを全力で応援する学校です」さあ皆さん、これから我々と一緒に頑張りましょう！  
(入学式新校長祝辞概略)



## 卒業生活躍

4月12日(土)、第28回ネット店全国サービス技術コンクールが行われ、32チーム64名の出場選手中、当校卒業生が8名出場した中で、「ネットトヨタ東京」の千本健太さん(1級自動車科7期卒業)がサービス競技で優勝を果たしました。おめでとうございました。

また、4月19日(土)には、第31回トヨペット店全国サービス技術コンクールも行われ、23チーム50名の出場選手中、当校卒業生が8名出場した中で、サービス競技では「横浜トヨペット」中村亮さん(自動車整備科30期卒業)、ボデー競技では「横浜トヨペット」高田亘さん(ボデークラフト科7期卒業)、ペイント競技では「東京トヨペット」野地康介さん(ボデークラフト科10期卒業)と各競技の優勝者は卒業生という好成績をおさめました。おめでとうございます。

## スマートモビリティ科 1期スタート

つながると、便利で安全な世の中になる。「スマート社会」は、もうすぐそこまで来ています。平成26年4月、「ハイブリッドEV科」は、2年課程の「スマートモビリティ科」として生まれ変わりました。ハイブリッド車はもはや一般の自動車となつてしまいましたが、これからはプラグインハイブリッドや電気自動車、燃料電池自動車(FCV)を駆使して、快適かつ安全に街中を走り、家や建物とつながって、エネルギーを効率的に使うためのキーデバイスとなります。



お問い合わせ・イベント申込みは「学生部」まで！

フリーコール 0120-76-1929  
トヨタ大学校 検索

### 2014年も 在校生がご案内 楽しいオープンキャンパスが待っている!

施設見学	要予約 (10:20~12:30)
6/14(土)・22(日)	
7/12(土)・26(土)・27(日)	昼食付 ミニ体験あり
8/16(土)・17(日)	

授業見学	要予約 (10:30~13:20) 昼食付
6/7(土)・21(土)	※見学終了後 希望者にミニ体験授業あり (終了 14:30)
7/5(土)	
8/22(金)・23(土)・29(金)・30(土)	

### トヨタ東自大の 応援制度

1. 受験生紹介制度 卒業生の方・関連企業の方
2. 320名入居可能な校内寮完備！提携マンション多数あり！
3. 「トヨタ東自大奨学生」制度 (40名に返済不要の奨学金支給 (40万円名、16万円名 入学者の1割が対象！))

詳細はお問い合わせ下さい。



「知る」ことの楽しさ

教育部長 河本 博司



トヨタ自動車大学校に入学した皆さん、入学おめでとう。皆さんの入学を心から歓迎します。

今年には当校創立以来六十年を迎えた年に当たります。この六十年間に二万人を超える卒業生を送り出し、多くの方々がさまざまな立場でリーダースhipを發揮し活躍をしてくれています。

「一分一秒を大切に」

学生部長 高柳 尚之



新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さん、入学おめでとう。皆さん、入学おめでとう。皆さん、入学おめでとう。



「入学にあたって」 1年 1級自動車科 レバン チェン (ベトナム)

初めて日本での入学式に参加しました。式はとても厳粛に行われました。前日までどうやって過ごせばいいの心配がたまりませんでした。



「叶えたい夢」 1年 自動車整備科 築場 美彩穂

同じ車でもオーナーのこだわりで車の性格は変わる。今度はこちらをいじりたいと終わりの無い夢がある。



「3年生になって」 3年 1級専攻科 高橋 勇樹

私は1級専攻科生になるにあたって、大きく分けて3つの目標を掲げることになりました。



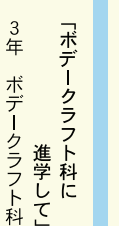
「整備士の目標」 1年 自動車整備科 中込 黎

からトヨタの名を背負い、技術の向上だけでなく人間性も養うことが出来るので迷わず受験しました。



「入学にあたって」 3年 スマートモビリティ科 高橋 拓也

スマートフォンが普及して、スマートモビリティ科に入学するに当たり、私はこの科の第一期生として、しっかりとやっていけるかという、不安な気持ちや心配がありました。



「ボデークラフト科に 進学して」 3年 ボデークラフト科 中山 康弘

整備士の道へ進むのなら、事故などで傷やへこみがある車を直せる整備士になりたいと思ったのが進学を決めた理由です。

「お知らせ」 本年度より校長、学生部長が替わります。前任の杉山校長に替わり、同じく前任の松浪副校長が新たに校長に就かれました。



### 上級コース・ユニフォーム更新

上級コースに新しく進級、入学した学生（1級自動車科3年生、1級専攻科3年生、スマートモビリティ科、ポデックラフト科）のユニフォームが一新されました。従来のライトグリーンのカラーのユニフォームは、平成8年に研究科（現在のポデックラフト科）が新設されたのを機に採用され、以来18年間、2年課程を卒業、修了し、上級コースへ入学、進級した学生用として使われてきました。19年ぶりに一新されたユニフォームはグレーを主体とし、黒のラインが入ったものとなり、デザイン性、機能性も、より向上したものとなりました。新しいユニフォームと同様に心機一転頑張っていってほしいと思います。



入学後4日目という事もあり、今回の高尾登山は「コミュニケーションをとり、友達を作る」を目標にゴールを目指しました。高尾山山頂では、天気にも恵まれ、まだ桜が咲いていて、班毎に集合写真を撮ったりなど、少しずつ交流を深めていきました。また、最初は弱音を吐いていた学生も、仲間の励ましで登りつくり、山頂からの景色を見て達成感を味わっていました。大自然の下、親睦を深め、結束が強まった一日となりました。

一年生は4月14日に、レクリエーションの一環として、高尾山に登ってきました。当日は高尾山自動車祈禱殿の駐車場に班毎に集合をして、高尾山頂を経由し、小仏城山で休憩をして、相模湖まで約4時間のルートを歩きました。

## 1年生レクリエーション



とと呼ばれる、1人では出来ない課題を仲間と協力しながら乗り越えていくアクティビティを行いました。普段の授業では体験しない事を行い、学生たちは生き生きとしていました。また、1日が終了した後には、今までより強い絆で結ばれていました。



当日は新割りから始めて、飯ごう炊飯の本格的なカレー作りを半日。プロジェクトアドベンチャー



約1100人の学生、職員がいつ起きるか分からない災害に対し、真剣に訓練に取り組みました。訓練では実際の放水はしませんが消火班の動きや避難誘導の確認、1年生は起震車体験、消火器訓練も行いました。また消防

4月10日、緊急地震速報の放送が流れ、震度5強の直下型地震が多摩地区に発生し、校内に火災が起きた想定で、防災訓練を実施しました。

署の浅川出張所の所長さんからの講演や消防活動2輪「クイックアタッカー」の紹介も行われました。災害は起こらないにこそした事はありますが、万が一、発生した場合でも落ち着いて行動できるように今回の訓練の内容を一人一人がしっかりと再確認しておいてほしいと思います。

## スーパーGTメカ体験 in 富士

私は今回スーパーGTというレースを初めてサーキットで見えるチャンスに巡り合うことが出来、それが巡るとチームスタッフの一員として体験することになりました。4月に入学して約1ヶ月が経過し、学校の授業の流れが少しずつ分かって来て、このメカニック体験に参加できるという話を聞き、「チャンスはここだ!」と思いついて参加を希望しました。

5月3日、4日に富士スピードウェイで開催されたスーパーGT第2戦でSUBARU R&Dスポーツでメカニック体験をしました。昨年同じチームで体験させて頂きましたが、反省点が多くあり今回はその改善しようと思いついて参加しました。今回は報告・連絡・相談をしっかりすること。頼まれた事は気持ち良く返事をしてから取り組むと



の先輩やチームスタッフの方々が丁寧に教えてくれたので、タイヤ運びや車両の清掃も楽しく出来ました。レースではチームの無線を聞きながらピットの指示をドライバーに伝えるサインボードの仕事もやらせて頂きました。この体験は通常では絶対に出来ない事で、一生忘れられない充実した3日間を過ごしました。次回参加するチャンスがあれば、また参加したいと思っています。

最後の片付けの後、チームの方から、自分が取り組んでいたチーム2点について、良く出来ていたとお褒めの言葉を頂きました。次回、参加の機会がありましたら、今回の経験を生かして行きたいと思っています。

1級自動車科2年 森本 健太

1級自動車科1年 山田 大聖

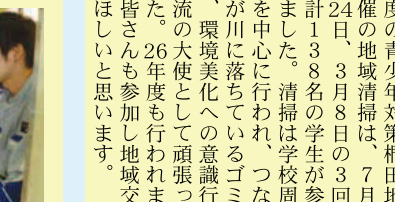
## ボランティア活動報告

### 25年度献血報告

本校では社会貢献活動の一環として献血を実施しています。平成25年度の献血は11月の学園祭で3日間、3月に2日間の計5回、5日間行われました。多くの学生、職員に協力していただき、2回の合計で実施が310名となり、昭和48年からの累計が、実施13878名となりました。26年度も実施の予定です。ご協力よろしくお願ひします。

### 地域清掃

平成25年度の青少年対策欄田地区委員会主催の地域清掃は、7月6日、11月24日、3月8日の3回が行われ、計138名の学生が参加してくれました。清掃は学校周辺の湯殿川を中心に行われ、つなぎ姿の学生が川に落ちているゴミなどを拾い、環境美化への意識行動と地域交流の大使として頑張ってくれました。26年度も行われますので是非皆さんも参加し地域交流を深めてほしいと思います。



## エキサイティング GoGo EV レース in 筑波

5月3日に筑波サーキットで行われたエキサイティングGoGo EVレースに初参加しました。私はERKとヨタハチで耐久レースに出場し、ERKの耐久レースでは優勝することができ、ヨタハチで出場したコンパクトEVの耐久レースは無事に完走することができました。しかし、ERKのレースでは、チェッカーが飛んで電源が落ちてしまい、ゆっくりとゴールしたことが反省です。今回の収穫は電圧や電流を確認しながら走れたことです。今後はもっと上手く電気を使いながら速く走れるように考えていきたいと思っています。そして、来年このイベントに参加し、今年以上に収穫あるものにしたしたいと思います。





### 未来を応援します！ こちら 就職支援課！

新入生の皆さん、入学おめでとうございます！こちらは就職支援課です。文字通り、学生の皆さんの就職活動をサポートする部署です。

入学直後で授業に慣れたところなのにもう就職活動の話？かもしれませんが、特に自動車整備科の皆さんは就職活動（就活）の時期はすぐやってきます。そのときが来ても落ち着いて就活できるよう、いくつかポイントをあげておきたいと思います。

1つ目は、クルマに関わる仕事に誇りを持ってほしい。今の社会はクルマ無しでは成り立ちにくいし、整備士がメンテナンスをすることで故障せず快適に使用できるものです。整備士は社会での重要な役割を果たす仕事なのだから、誇りを持って臨んでほしいと思います。そうすれば就活でもしっかりした手応えを得られるはずですよ。

2つ目は、知識を貪欲に吸収してほしい。与えられた課題をこなしているだけでは勉強は面白くない！どんどん知識を増やして、ぜひクルマのマニアになってほしい。自分から積極的に学んで知識や技術のレベルが高くなると、自信を持って自分を売り込むことができるようになります。

3つ目は、当たり前のことですが、誠実になることです。ニュース等で嘘や言い訳をする場面を見ることがありますが、やはり見苦しいもの。誠実さや真面目さは普段の生活から育ってきます。「磨いた技術に真心（こころ）をこめて」というすばらしい言葉がトヨタにはあります。

とはいえ、新入生は一回目の試験も終わらばかり。まずは遅刻、欠席しないよう、時間と健康の管理をしっかりお願いします。既に遅刻、欠席しちゃう！という人は再発防止をして元気に登校しましょう。

## LETTER FROM 卒業生

専門科15期卒（現自動車整備科）  
茨城トヨペット（株） 松浦 栄樹さん



皆さんは今、かけがえの無い仲間と同じ目標に向かって貴重な時間を過ごしているのではありません。卒業して二十数年過ぎた現在でも多くの仲間との付き合いがあります。年に一度は趣味のオートバイに乗りツーリングを楽しんだり、八王子の地で一緒に過ごした仲間と再会し酒を酌み交わす時間を持ちたいと思っています。同期にはトヨタ自動車に入社した者やトヨタディーラーで活躍している者、全く別の職業に就いた者や皆さんの先生の中にも居ます。会えば必ず勇気付けられ、前向きな気持ちになります。皆、本当に「大切な一生の友」です。知識と基礎技術を身に付けると共に出会いを大切にしてください。

こんにちは、専門科15期卒業の松浦でございます。私は、茨城トヨペット株式会社に入社後、店舗サービススタッフ、車検専門工場、サービス本部、人事、営業企画、新車営業スタッフ、中古車商品課課長を経てU-Carセンターで店長をさせて頂き現在3店舗目です。いろいろな部署で仕事をさせて頂き、自動車という機械を通じて沢山の方との出会いがありました。お客さま、会社の上司、同僚や後輩、関連企業の方等多くの方々の支えがありました。



U-Carセンター下妻店

**from 相談室**

開室日 毎週 火・木曜日  
直通電話 042-663-3352  
E-mail refre.ttct@gmail.com

レジュリエンス、それは失敗や困難などの逆境から立ち直ろうとする力を意味します。人生において重要な力とは、成功し続けるための力ではなく、このレジュリエンスです。これからの東大での学生生活で、さまざまな体験を重ねこのレジュリエンスを育てていきたいと思います。

意識して欲しいのは、物事への取り組みの結果にとらわれ過ぎないということです。結果は、取り組みについての改善点として冷静に捉え、その上

で、力を尽くして取り組むという姿勢を重視するのです。「努力できる自分、少しづつでも成長している自分」に気付き、自己や一歩先への望みにつなげましょう。「自分なら、いつかはなんとか出来る」、「自分の出番はきつと来る」といった、自信と前向きな樂觀性がレジュリエンスの源となります。また、自力のみで対処するのが難しい時もあるでしょう。その時は、周囲の人たちを頼り、自分と異なる考えや方法を参考にすると視野の広さと柔軟性も、レジュリエンスの大

切な一面です。一方的に頼るばかりではなく、別の場面では、逆に自分が相手の支えになることが出来るかもしれません。互いに支え合える信頼関係をレジュリエンスを発揮する基盤となります。

前向きでしなやかな心の力、レジュリエンスを育み、失敗を恐れずチャレンジして行きましょう。そして、もし前向きな力が湧きそうにない状態なら、無理せず立ち止まってみることも、実はレジュリエンスの大切な役割です。そんな時には、ぜひ相談室で気分転換を！お待ちしております！

当校ではクラブ活動のことを校友会と呼びます。現在、野球、サッカー、テニス、バスケット、卓球、バレーボール、バトミントンやクロスカントリ、自転車、武道部といった計10のスポーツ系の部活と軽音楽、手話、モーターサイクル、ラジコン、自動車研究部など計5の文化・技術系の部活があります。

週1〜2回活動するクラブが多く、高校時代の様に厳しい練習をするような部活動では無く、初心者の人でも楽しく活動できるものばかりです。



## クラブ活動紹介

定期的に大会に参加しているクラブも多く、専門学校の大会やその他各種大会にも出場しています。またEV（電動）カーやラリーなど自動車関係のレースにも出場しており入賞等も果たしています。

クラブ活動をする中で先輩や後輩との繋がりが出来たり、ストレスの発散が出来ます。勉強だけでは無くて色々な視野を広めるためにも積極的にクラブ活動に参加してみたいかがでしょうか。

### 新 職 員 紹 介

仁宮 直人先生  
東京都八王子市出身

この度、4月から職員としてお世話になる事となりました。仁宮直人です。出身地は東京都八王子市です。本校の専門科（現自動車整備科）28期を卒業後、ネットトヨタ多摩（株）にて14年間メカニックとして現場を経験してきました。

今後は、現場での経験を活かして頑張りたいと思いますので、皆さんよろしくお願いたします。

### 『多目的広場』

当校創立60周年を踏まえて進められた多目的広場の新設工事が終了し、竣工式が6月4日に行われます。

多目的広場を設立することで、自動車業界を支える人材教育の一環として、授業等で学生自らがハンドルを握って運転できる機会と環境を整えると共に、学校行事（学園祭のイベント等）や校友会活動、そして災害時の避難場所としても利用します。

今後も「車が好き」で「楽しい」人材育成に取り組んでいきたいと思っております。

## ついに完成！